

# かわらばん

KAWARABAN  
冬号



## Contents

- ごあいさつ .....①
- DMAT実働訓練に参加して .....②
- 老健・通所リハだより .....③
- 病院機能評価・発熱外来のお願い .....④

発行年月日/  
2024年1月15日

発行人/理事長 難波 義夫  
編集/金光病院広報委員会

〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田740  
TEL(0865)42-3211(代)・FAX(0865)42-5801  
TEL(0865)42-3261 (診療予約専用ダイヤル)

e-mail konkou-hos@mx1.tiki.ne.jp  
U R L https://konkohp.jp/

## ごあいさつ | 外科医長 李 云成

今年10月より外科常勤医師として務めさせていただきます、李云成(りうんせい)と申します。

出身は中華人民共和国浙江省杭州市、大学を卒業するまでは杭州市で過ごしました。中国大連の大学病院で研修し、2011年交換留学生として来日、岡山大学消化器外科講座(旧第一外科)の博士課程へ入学、その後岡山大学病院で初期研修、岡山赤十字病院で後期研修、手術を中心に経験積み、医局人事を機に浅口市金光町に初めて訪れました。一日でも早く仕事に慣れるよう、地域に密着した診療が出来ればと考えています。

当院の外科では、傷の手当てから、鼠径ヘルニア(脱腸)、痔、虫垂炎(盲腸)や胆石症・胆嚢炎、消化管(胃・大腸など)がんの検査や治療まで幅広く診療を行っています。

近年、寝たきり状態は身体によくないことがわかっています。特に高齢者では、数日の寝たきり期間によっても筋力低下が進行し、自力で立つことが困難になることもあります。さらに入院後や手術後であっても早期からベッドから起き上がり、車椅子に乗る、歩行することで回復を促し、廃用症候群を予防し、入院期間を早める可能性があることまでわかってきました。当科でも、従来の開腹手術と比べて身体に対する負担が少ない低侵襲の腹腔鏡手術を積極的に行い、多職種との連携によって「術後早期回復プログラム(ERAS:イーラス)」を実践し、患者様の早期退院・早期社会復帰に尽力しています。

よろしくお願ひします。



# 令和5年度 中国地区DMAT連絡協議会実働訓練に参加して

医療安全管理室 富倉 綾乃

DMATとは『災害が発生した際の急性期に活動ができる機動性を持った医療チーム』のことです。医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や他傷病者が発生した事故などの現場に急性期（おおむね48時間以内）から活動できる医療チームです。

今回DMATの実働訓練に参加することができ、大規模災害を想定しての院内訓練を行いました。この規模での災害訓練は初めての試みで、大変貴重な経験をさせていただきました。

大規模災害が発生した際、一人でも多くの命を救うためには救急医療体制の整備は欠かせません。限られた人材と資源で、患者様・職員・地域の皆様を守るために必要なのは、日頃から防災意識を高め災害時にとるべき行動を決めておくことです。そして広域災害救急医療情報システム（EMIS）を利用して、必要時には広域搬送やDMAT派遣等の支援を受けることです。今回のDMAT実働訓練で、これからの利用方法を学ぶことができました。

こうした訓練を通じて、災害時医療機関が担う役割を十分に果たせるよう今後もスタッフ一同努力して参ります。

最後になりましたが、訓練当日来院された皆様には駐車場等ご不便をおかけいたしました。ご協力くださりありがとうございました。



# 老健だより

ケアリゾート金光 支援相談員 古谷 祐希

## 11月20日より、 完全予約制にて『直接面会』が再開されました!!

これまでもケアリゾート金光ではWEB面会という形で、ご本人様のお顔を見てお話しをしていただく機会を提供していましたが、実際のところ、なかなか顔の画像だけでは状態や様子がわからない、面会者が誰かもよく分かっていないようだ、などの声も多くいただいております。ご本人様としても、施設生活の中で、家族のことや外部の状況が全く見えず、気がかりでストレスを感じておられる様子も多く見られました。施設としても、双方の『会いたい』と願うその思いに早くお応えしたいと、感染者数がなかなか落ち着かない状況にもどかしくも感じておりました。



晴れてこの度、『直接面会』が再開したことで、ご家族様にとっても、直接ご本人様とやりとりでき、問い掛けにも生の声や表情、仕草で返す様子から、リハビリやケアの成果に安心していただけるとともに、ご本人様のADLやQOLの向上にも繋がればと、施設としても期待をしております。そして、それが在宅に帰られた時のご本人様の生活をイメージする助けにもなれば幸いです。

今後も職員一同、「いつも心に寄り添う姿勢」を大切にしながらサービス提供できるように努めていきたいと思っております。

### ～ケアリゾート金光（介護老人保健施設）～

例えば、「入院後、退院して前のように在宅で生活できるか不安」「介護保険のことが何も分からない」「介護施設のサービスを使いたいけれど、どうすればいいか分からない」などお困りのことがございましたら、お電話でも構いませんのでお気軽にご連絡、ご相談ください。

●連絡先 0865-42-3390 （支援相談員：西村・古谷 まで）



## 通所リハビリテーションだより

介護福祉士 井上 裕之

### 「車の感染症対策、寒い冬の換気どうすればいい?」

冬の到来!! 感染症対策を徹底し、不安なくお出かけしたいですね♪  
今回は通所リハビリで実施している車内の感染症対策を紹介します。

- ①乗車前に手指消毒をする
- ②乗車時にもマスクを着用する
- ③車の窓を5cm程度空ける
- ④送風モードを外気にする
- ⑤エアコンの風量を最大にする

※対角線上の窓を空けると効果的です

※④⑤によって3分程度で車内の空気が入れ替わります

通所リハビリは見学、体験利用することも可能なので、お気軽にお尋ねください。

連絡先：TEL 0865-42-3179

（通所リハビリテーション直通）



# 病院機能評価3rdG:Ver2.0受審を終えて

看護部部長 伊藤 祐美子

保健医療福祉を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。医療機関においても患者中心の安全、安楽、安心そして快適な療養環境を含めた質の高い医療サービスを提供するには、職務満足も向上してこそ患者満足度が向上するといわれます。

当病院は1949年に病院機能がスタートし、増床を重ね147床となり今日に至っています。病院は、変化する環境と社会のニーズに対応し貢献することが期待されています。それには医療サービスを点検し環境整備をすることが必要となります。当病院では2023年1月末に病院機能評価機構の評価を受けるべく、準備を進めてきました。

医療関係者をご存知の方も多いと思いますが、病院機能評価とは我が国の病院を対象に組織全体の運営管理および提供される医療について、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的、科学的な第三者機関として医療の質の向上と信頼できる医療の確保に関する改善活動支援です。病院機能評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、4つの評価対象領域から病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価します。その判定は各専門領域（診療管理、看護管理、事務管理）の知識と経験を有する評価調査者（以下「サーベイヤー」）が、チームとなって実際に病院を訪問し審査を行います。

当病院は前回の受審から5年が経過し、今年が更新の年になります。受審当日は、機構からのサーベイヤー医師1名、看護師1名、事務関連1名で来院され、まず職員との挨拶、部署訪問および書類審査、さらに講評という流れで2日間行われました。

「3rdG」の特徴は、病院種別による評価体系、形よりも実質的な診療現場が評価される、いわゆる「ケアプロセス」等々です。ケアプロセスとは、入院から退院までの診療、看護を遂行していく過程における業務の伝達プロセスやチーム医療の実態です。今回、一般病棟と地域包括ケア病棟が審査を受けました。評価の視点は、常に患者さんが主体であることです。私たち医療者はプロセスを大切にしてきましたが、患者さんは結果を大きく期待していることを意識し、安全の質を保証し、治療成果が重要になります。そういった観点から数多くの評価項目を整理し、どのようにプレゼンテーションしていくべきか苦慮していたのも本音です。しかし、看護部はこれまで実践してきたことを関係部署と一緒に取り組み点検し、強み弱みを整理し、年明けの慌たらしさを勢いに変え、追い風として気持ちを張り詰め、準備に取り組んできました。自分たちが提供したケアは患者さん中心であったか、そのケアの意味と意義、大切にしたこと等を自分たちの言葉で伝えていきました。この機会は、自分たちのケアはこれで良かったと改めて自信になるとともに課題にも気づき、終わってみれば一回り成長したスタッフの姿がありました。

最終的に9月に認定通知が届きました。しかしながら、受審支援を通じて認定で終わりではなくここがスタートであります。これから何ができるか、次に向かってどんなビジョンを掲げていくかを考える必要があります。この先、世の中もどんどん変わっていくでしょう。次のビジョンを見つめてPDCAサイクルをしっかりと回していきたいと考えます。

## 発熱症状で来院時のお願い

コロナが第5類に移行しましたが、当院では引き続き感染対策を継続しています。

次の症状がある場合は、電話連絡の上ご来院下さい。

発熱・咳・鼻水・喉の痛み・痰・胸痛・息苦しさ・倦怠感・頭痛・吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・味覚嗅覚障害等  
感染症が流行してくる時期になります。皆様のご協力をお願いします。

## 小児科外来のお知らせ

2023年10月より、小児科外来が月曜午後も診療しています。

診療時間は13:30～16:30までとなります。



## 金光病院の理念

地域の人々の「健康」と「命」を大切にします。

## 金光病院の基本方針

1. 急性期から終末期まですべての領域において全人的医療を行います。
2. 患者様の自立を支援し、早期在宅復帰を目指します。
3. 謙虚な心、礼節を忘れず、責任を持って最善の努力をします。
4. 研修・研鑽に励み、質の高い医療・看護を提供します。
5. 地域の中核病院として、周辺医療機関、施設との連携を推進します。

## 編集後記

2024年は、十干十二支で甲辰（きのえたつ）の年。

これまで積み上げてきた物事が成長・発展し、形を成す。そんな年になると言われています。

皆様今年もいきいきと、健やかに過ごされますように。

良い一年にしていききたいですね。



日本医療機能評価機構  
医療機能認定病院